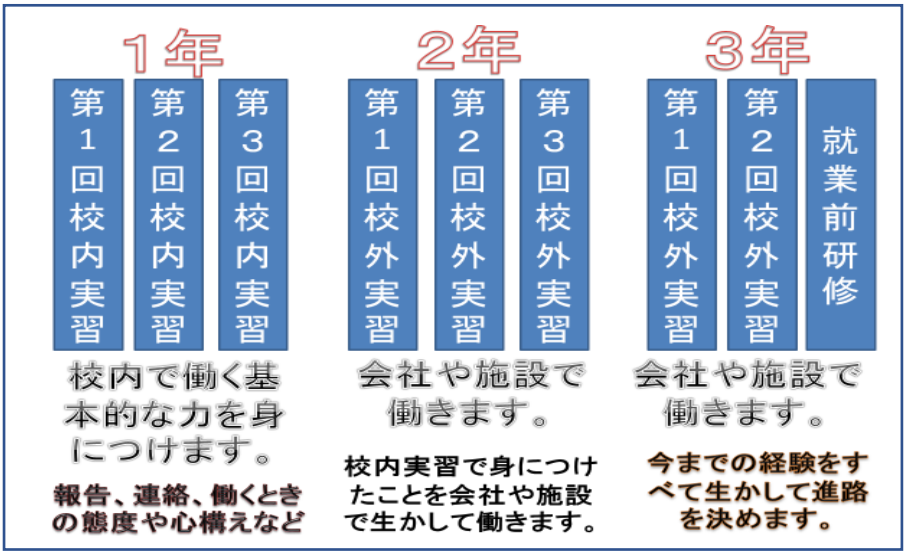
進路だより　第４号

令和２年８月２５日

就業体験実習、校内実習を成功させるには

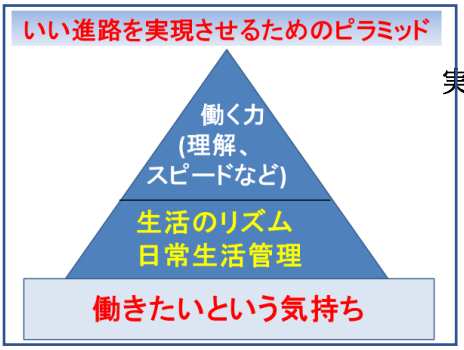
いよいよ今年度初めての「就業体験実習」「校内実習」が８月３１日～９月２５日にあります。「１年生にとっては３年間の実習のスタート」「２年生にとっては初めての校外に出る実習」「３年生にとっては進路を決める実習」ということで大変重要な１か月になります。

３年間の実習を簡単な図で表すと下のようになります。（今回はそれぞれ第１回が中止になりました）



図で分かる通り、生徒は実習の回数を重ねるごとに段階的に力をつけていき最終的に望ましい進路に進むことになります。福祉就労希望と実習の関係については「進路だより第２号」、一般就労と実習の関係については「進路だより第３号」をもう一度ご覧ください。

※過去の「進路だより」はホームページで確認できます。



働くことに関して、左のような図がよく知られています。実習では「働く力」だけではなく「生活のリズム」がしっかりしているか「働きたいという気持ち」をしっかり持っているか等も見られます。「働く力」「生活のリズム・日常生活管理」「働きたいという気持ち」をバランス良く発揮することが実習の成功につながることになります。

１「働きたいという気持ち」をわかってもらうには

・学校の作業や実習で身に付けたあいさつや報告を校内実習、校外実習でもしっかりと実行してください。「出勤、退勤のあいさつ」はもちろんですが、「指示を受けた作業が終了したときの報告」「わからないとき、忘れてしまったときに聞くことができる」「失敗してしまったときの報告やあやまること」も大切です。

・学校の作業で学んだ。作業開始前の準備、作業後の片づけや掃除、これもぜひ忘れないでください。

2「生活のリズム・日常生活管理」について

約１か月間の長い実習中に欠席、遅刻、早退なく安定した実習ができると高評価につながります。

・早寝早起きを心がけてゆとりを持って家を出ましょう。事前の通勤練習も大切です。
・睡眠、朝食をしっかりとりましょう。昼食も集中力、力が出るお弁当をお願いします。
・意外な盲点が清潔さです。初日に清潔な印象だったのが、最終日にひげが伸び、服も汚れているようでは困ります。初日から最終日まで清潔に実習することが大切です。
・土日、休日の過ごし方も大切です。今こんな状況ですので家で体をしっかり休めてほしいと思います。家でもできる練習があればやっておくと有効です。例えば「登利平」で実習した生徒が、休みの日に弁当包みの練習をして包み方が上手になったことを感心されました。評価も高く、雇用もしてもらえました。

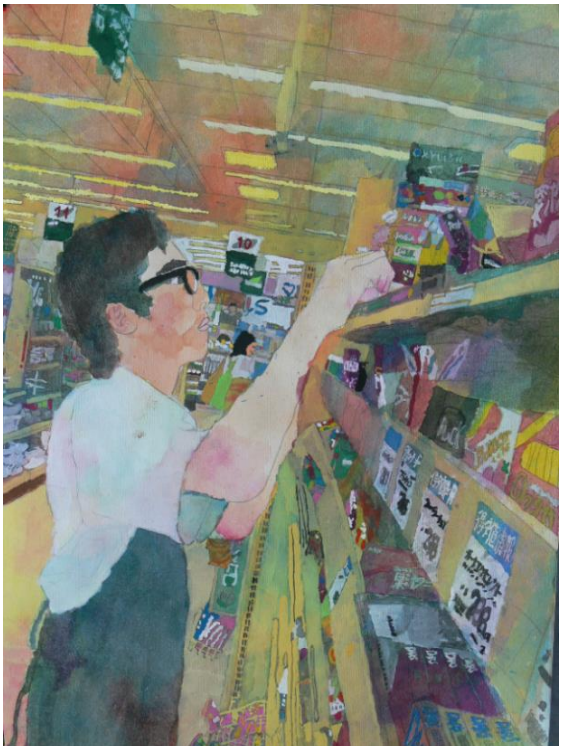
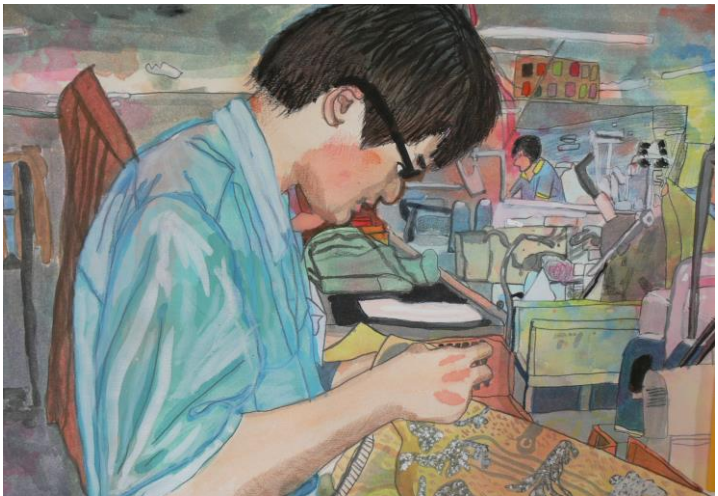
3「働く力」について

いきなり一人前の仕事をすることは無理です。少し長い目で見ると一人前、もしくは一人前に近い仕事ができそうだと思ってもらえることが大切です。

・しっかり話を聞いて、教えてもらったことは必ず実行しましょう。
・大切なことはメモを取ることも有効です。例えば教えてもらったことを休み時間にメモ帳に書いていて評価された生徒もいました。メモの内容は、「１仕事の流れと注意点」「２身だしなみ等の気を付けること」「３一緒に働く人の名前」「４商品名」だったようです。ただし仕事を中断してメモを取ることだけに専念しないようにしてください。

※学校でも実習開始前に上記のことは指導しますが、１ヶ月という長い実習期間ですので、保護者の支援も実習の成功に大きく関わってきます。よろしくお願いします。

新型コロナウイルスの影響が、今年の雇用にどう影響してくるのか先が見えにくいのが正直なところです。生徒は自分の持っている力をしっかり出しましょう。生徒が実力を出せるように、学校、保護者は協力し合って支えましょう。



卒業生の描いた実習中の自画像です。二人とも卒業して 10 年になりますが会社からの評価も高く、卒業時と同じ職場で順調に働いています。
※ホームページではカラーでご覧いただけます。